



早稲田大学 GWラグビー クラブ

OB会新体制発足
にあたって

2020/6/28

新体制発足にあたって



- 早稲田大学GWラグビークラブは、1930年(昭和5年)、ラグビーに真剣に打ち込むことは勿論のこと、他のスポーツ、勉学、趣味等にも打ち込んで、学生生活を充実したものにしようという目的で、創設されました。
- クラブ名のGWは、ラグビージャージの色であるGray & Whiteに由来しています。グレーは色の両極である白と黒の中間色。ホワイトはどんな色にも成りうるという可能性を秘めています。すなわち、現役学生時代は思いっきりラグビーと勉学などに打ち込み、そして社会人になってからはそれぞれの分野で、自らが真っ白なキャンバスに画を描くように活躍しよう、という意志を表しています。
- 創部90周年を迎え、新体制幹部で、その存在意義(GWのありたい姿)を、改めて検討してみました。これは、今後、様々な活動を判断し、行動する際に、軸として大切にしていきたいものです。
- なお、これは完成形ではありません。皆さんからの奇譚のないご意見、GWへの想いを追加して完成させていきたいと思っております。幹事にご意見を頂ければ幸いです。よろしくお願いいたします。

会長 宮武志郎
幹事長 蓮井賢治

3つの視点の確認

GWのありたい 姿

- 何のために、GWは存在しているのか。
- GWは、社会のために何ができるのか。
- GWは、何を大切にするのか。



GWのありたい姿(1)

何のために、
GWは存在して
いるのか。

- クラブチームとして、日本ラグビーの裾野を広げるユニークな存在として、日本ラグビーの発展に貢献する。
- 学生、卒業生を問わず、世代を超えて「豊かなGWライフ」を創造し、愉しむ。



GWのありたい姿(2)

GWは、社会のために何ができるのか。

- ラグビーを通じて、チームワークを尊び自由闊達でチャレンジ精神に富んだ人材を社会に輩出し、社会の発展に貢献する。
- ラグビーを通じて、日本のみならず、世界中のラグビー仲間とも積極的に交流し、ノーサイドの精神と笑顔を広めることに貢献する。



GWのありたい姿(3)

GWは、何を大切に
するのか。



- GW 学生メンバーは、常に大学クラブラグビー界の雄たる存在を目指し、グラウンドの内外で活躍する。
- その他の全てのGW ファミリーは、学生メンバーが主役の精神で、学生メンバーのために金銭的・精神的サポートを行う。

クラブの理想は？

We are
「GWファミリー」



- 我々は、「GWファミリー」。
- 現役の選手も、女子マネも。その家族も。
- GWシニア、GWプレジデントに参加してくれた方々も。
- GWを卒業したOBもOGも。ラグビーをできる人も。もう出来ない人も。
- GWは、ラグビーが好きで、酒が好きで、硬軟多彩な話が好きで、笑いあえる仲間の集う、開かれたクラブでありたい。

クラブとしての課題は？

GWの課題



- GW 卒業生メンバーの世代による距離感。心理的、物理的障壁を除けるか。
- コミュニケーションの濃淡が関与の濃淡に結びついている。世代にあったコミュニケーションデザインの再構築をできるか。
- 特に、シニアとプレジデントとの繋がりの希薄さ。
- 活動資金の確保(会費納入率向上)し、現役の支援を一層充実できるか。
-

OB会は、「GWファミリー」へ

「GWファミリー」 の活動



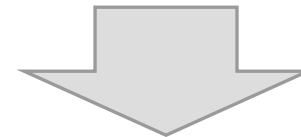
GWのありたい姿を確認

1. 何のために、GWは存在しているのか。
2. GWは、社会のために何ができるのか
3. GWは、何を大切にするのか。

GWの課題を解決するために、

- 学生メンバーの金銭的サポート
- 精神的なサポート
- 人的ネットワークによるサポート

...



「GWファミリー」としての活動計画を策定し、発表していきます。



よろしくお願ひします。

